



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.19 April 10, 2010

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

「なに、不運は面白いだって」

岡田 茂富



思い起こせば、まだ小学生のころ、雑誌の挿絵で甲冑に身をかためた山中鹿之助が「願わくば我に七難八苦を与え給え」と三日月に祈っているのを見て、強い印象を受けたことを憶えている。きっと、自分も鹿之助のように強い男に

なりたいと絶望的に願ったからにちがいない。

つい先頃、人生いくつになっても悩みは尽きないと考えながらブックオフをふらふらしていたら、『不運は面白い、幸福は退屈だ』という本の題名が目にとまり急にところが軽くなった。作者は佐藤愛子。文庫本で代金 105 円也。ジョークとしても悪くないなと思ひ、すぐ買いました。

私にとって幸福とは、「元気がいいこと」ただそれひとつなのである。……私は強くなりたい。だから強いフリをする。……強がり、痩せ我慢。弱者が強くなって行く方法の一つであろうと考えている。

私は疑うことが嫌いである。疑うより信じた方がらくだから信じる。そのために私の人生は損をすることが多かった。その損から新しいものを産み出せばいいのだ。……肉体の欠陥を指摘するサベツ用語を使ってはいけないのよ。そういう言葉にこだわること、そのことがサベツ意識ではないのかッ！ 人の言葉にいちいち傷つくほど、現代人の精神は弱いのかッ！ むやみに傷つかぬ強靱な精神を育てるほうに目を向けるべきではないのかッ！ 人間にとって大切なもの、それが現代に見失われつつありますッ！ それは何か！ それは抵抗に耐え、のりこえようとする意志力ですッ。

へい、ごもつともで。

いったい、言葉を直せば、現実が直るんですかッ！ な、直りませんー。……この節のヤツは何でもかでも、ひとのせい。自分のことは棚に上げて、ひとに文句をつけることばかり考えている。痴漢にわるさをされたのは、わるさをしたくなるようなオッパイがわるい。……

といった具合に、愛子さんはいたって元気がいい。それでは老後についてはどう言っているのか。

健康法は「いつまでも元気に生きるための知恵」である。だが私はいかに上手に死を迎えるかということの方が大事になってきた。これからは自分の楽しみを楽しむんです、そのためにこそ励んできたのではないの、という人がいる。だが私には老後の楽しみなんて何も見当たらないのである。

おいしいものも食べたいとは思わないし、物見遊山も疲れるばかりだ。そんな私にどうして健康法が必要だろう。自分を自然に任せきること。健康法は邪魔なばかりなのである。

それで私は愛子さんと私との共通点を見つけました。それは何か。二人ともわりかし単純なんじゃないの。それでは最後に。

「一ああ面白かった」死ぬ時、そう思って死ねれば更にいい。私はそう思っている。

今月のジョーク

I don't want to achieve immortality through my work—I want to achieve it through not dying. *Woody Allen*

第 18 回研究発表会
一知半解者のしあわせ
ジョーク・コンテスト観戦記
佐川 光徳

応募者から寄せられた出題作を一覧表にまとめて、パワーポイント作成担当の植田さんにお送りするのが私の役目です。ですから、皆さんより一足先に目を通してというアドバンテージを頂戴しているはずなのですが、どっこい…。

当日の結果と照らし合わせると、①まるで分かっていなかったもの、②分かったつもりでいても、実は誤解していたもの、③二つ以上あるツボの一つだけしか読み取っていなかったもの、④よけいな深読みをしてあらぬ方に迷い込んでいたもの、が半ば以上を占め、最後に、ようやく、⑤きれいに読み解いていたものが、ちらほらと現れます。

今回の場合はどうだったでしょう。Joke Contest Supplement と照らし合わせながら、私の一知半解ぶりを憐れんでください。

1. T を発音すれば、Harlow→harlot (遊女) となるのがツボとは見破ったのですが、Margot→margo にも仕掛けがあるはず、とカンぐったのが失敗。渋谷 Bunkamura 内のレストラン Les Deux Magots Paris への連想にこだわったのと、この方の出題であるからには、もっと奥があるはず、という思い込みに捉われすぎました。

2. とてもきれいに決まったジョークだと思います。女王の性格を、frugality, abstemiousness, thrift, and diligence と形容することで、美味しさが増しました。

二番目の舌を噛みそうな単語には、お初にお目にかかりました。もちろん、きちんと辞書を引いて意味を確かめました。

3. My wife と your mistress が、別人に見えて実は同一人物だったとは! アガサ・クリスティー

がトリックに使えば、プーイングが起きそうですが、How long have you known about us? というオチが、それを救っているんですね。

4. 数年前の WBC で、自国のチームに何度もひいきのインチキ判定を下した Davidson なるアンパイアーのことを思い出して、納得。

7. 私が子どもの頃には、自宅の下肥を農家に提供して、野菜を頂くという風習がありました。

9. 分かったつもりで帰宅したのですが、読み直してみると、怪しくなってきました。新車で彼女を釣ったのでしょうか。ちなみに、私は「釣った魚には、どんどん餌をやろう」という主義です。

10. これでもか、これでもかとムシの良い注文を繰り返した挙句、彼女ら五名がたがいに連絡し合わないのが肝心と止めを刺すあたり、「シモネット賞」受賞者にふさわしいジョークです。

11. 臆面もなく、馬鹿馬鹿しい発言を重ねて行く見上げたジョーク魂。

12. 家内が私といっしょになったこと以上のジョークはなかったんですね。それに気付かなかったとは、何という私の鈍感さ。

13. 暗中模索=Aren't you Mosaku (茂作)? だったんですね。これも失格。

15. Pat がニクソン大統領夫人だろうとの見当はついたのですが、とっさに出されたらお手上げだったでしょう。

16. 次に予想される場面が、鮮やかに逆転されているところがお見事。私



は、こういうタイプのジョークに弱いのです。

19. 服部さんに何度目かの脱帽です。確かに、『リーダーズ英和辞典第 2 版』を引いてみると、1 から 13 まである jack (名詞) の語義の 11 番目に、「《俗》金、ぜに (money)」とありました。

さらに、She wants Jack. が She wants Dick. になれば全然別のジョークになると、追い打ちをかけられるに至っては…。

これが、宮本さんや服部さんにはない、一知半解者のしあわせです。謝謝!!

第 18 回研究発表会

新年会繁盛記

安藤 雅彦

この行事の言いだしっぺである宮本会長をはじめとする「2010年新年会組織委員会」のメンバー6人は、10回ほどの事前会合を重ね、おでんの試食、ビールの試飲、カーペットにジュースをこぼしてモップでふき取る作業のシミュレーションなどなど、準備に万全を期した（いくらなんでもマサカ！）。

不思議なことに、パンのプロである（3月には「TV, or not TV—名句のもじり」で研究発表をされる）豊田さんがオデンを提案され、調達責任者として活躍。暖かいハンペンとかコンニャクが乾き物の中で存在感を発揮してくれた。相棒の辛子が神隠しにあい、後片付けのときに現れた。オデン君ごめんね。

主催者発表では117人が参加。年に一度例会に参加されている大平さんが紅一点で、彼女がたまたま訪日中のドイツ人のマイケルさんを同伴された。観光より草の

根レベルの日独
交流とのことで、
「メルケル君、鳩



山君、まいったか！」ってな感じ。

昼の会合と夜の会合の間隙を縫って参加された林さんの熱意も感動もの。林さん、もしかしてビールス性のジョーク依存症ですか？

会長が開会を宣言し、会場を提供してくれた浦さんに、感謝の言葉と粗品（宝くじ）を贈呈。続いて、2009年を盛り上げてくれた会員の表彰。各々、総合プロデューサーの佐川さんが受賞理由を説明したあとで、榮譽を称えて全員で盛大な拍

手。そして副賞の宝くじが授与された。第二回ジョーク・バトル優勝の宮本さん、第一回



ジョーク・コンテスト優勝の服部さん、第二回ジョーク・コンテスト優勝の土屋さん、そして当日行われた第三回ジョーク・コンテスト優勝の相原さん、みなさんおめでとうございます。

さらに特別賞が二人、まず「深読み賞」の服部さん、パレスチナ人の人口とか、オバマ夫人とサンドペーパーとか、その調査力と博識で、今年も例会で驚かせてください。そしてジョーク司会業も板についてきた「シモネッタ賞」の相原さん、艶笑物のデータベースをさらに充実され、傑作を紹介してください。

ここで司会は一安心して、自由歓談と志願者のスピーチに移る。トップバッターの浦さんから締め佐川さんまで、途中高級浴槽のコマーシャルをはさんで、全員が熱弁をふるった。有望大型新人の菅生さん、太田さんのおふたりは、初参加とは思えぬ溶け込みようで、10年前からいるような感じだった。次回3月20日にもぜひお出かけください。

「2020年私の抱負」（大きいほどいいホラ話）では、岡田さんが日本航空株で被った大損害（ここまではホラー？）を今年取り戻すという決意（オオボラ？）を披瀝。特筆すべきは植田さんで、いかにも経理担当らしいマジメな口調で、生まれたての孫の性別確認作業の話がされた。僕なんか実話かな？ と聞いていたけど、よくぞだましてくれました。「カバ博士」に座布団3枚！

後日談、副賞の宝くじから当たりが数本でたこのことだが、詳細は部外秘。

続・今月のジョーク

A pessimist is an optimist on his way home from the racetrack.

The buck stops here.

宮本 倫好

ご存知、トルーマン元米大統領の座右の銘。「全責任は私にある」という意味で、死後娘さんが出した大統領の伝記の題名にもなっています。

この場合、buck は「責任」を意味し、元々は鹿の角の柄がついたナイフのことでした。ポーカーで次の親を示す印に使われましたが、親をやる気がない時、次の人にパスしたのです。そこで、to pass the buck (責任を転嫁する) という表現が生まれました。

トルーマンは「大統領職は全責任を回避できない」という意味で、The buck stops here. と決意を述べたのです。

某国の某宰相は「最後は私が決めます」とよく口にしますが、the buck は首相の前で stop しないで、鳩のように飛び去り、某実力者の前で stop する嫌いがあります。

buck は普通「牡鹿」という意味を持ちます。某民放のワシントン特派員は、ホワイトハウスの元大統領執務室にこの言葉が出ていると紹介し、「当時庭に、きっと牡鹿がよくやって来たのでしよう」と明快に(?) 解説していました。

草野淳会員の思い出によると、ジョンソン(LBJ)大統領時代、テキサスのLBJ牧場を訪ねると、大きな池に鴨が浮かんでいました。そこで案内人に「鴨がくるのですね」と話しかけると、彼はすかさず“The duck stops here.”と返し、草野氏は思わず大笑いしたそうです。案内人も外国人に会心のジョークが通じて、満足だったでしょう。



→ローレン・バコールを前に、得意のピアノ演奏を披露するトルーマン大統領。

第19回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：3月20日(土) 午後2時-4時
- 会場：平河町 Mercury Room
(クオリティ(株) 6階会議室)
(東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル)
- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。地図⇒<http://www.quality.co.jp/>
- プログラム
 - ① 「TV, or Not TV—名句のもじり」
発表=豊田一男 会員
 - ② 第4回ジョーク・コンテスト
司会=相原悦夫 会員
- 参加費：会員・非会員とも500円。
- 問合せ先：renraku@eigojoker.com

第4回ジョーク・コンテスト出題作品募集

- 要領：
 1. 出題は、お一人二題までとします。
 2. 今回は、短いもの(15 WORDS以内)に限定します。(評決が同点となった場合には、短いものを上位とします。)
 3. 必要と思われる場合には、「笑いのツボ」を付記してください。
 4. 当日出席できない方も、応募できます。
 5. 結果は、We, Jokers No.19 Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
- 宛先：mmsagawa403@s6.dion.ne.jp
- 締め切り：3月7日(日)

WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報 19号

発行日：2010年4月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル

クオリティ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：renraku@eigojoker.com

